

会 議 録

会議名	令和5年度 第5回田名地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 田名まちづくりセンター 電話042-761-0056 (直通)		
開催日時	令和5年10月17日(火) 19時00分～20時15分		
開催場所	田名公民館 大会議室		
出席者	委員	15人(別紙のとおり)	
	その他	地域包括ケア推進課職員2人 相模原市社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー1人 NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク2人 ※その他出席者5人は議題(1)のみ出席	
	事務局	2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 ☆不可 ☆一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 田名地区における「移動支援」の取組について ア アドバイザー(NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク)より説明 イ 質疑応答 (2) 子どもを対象とした事業(イベント)について ア 田名北小学校ふれあい広場(田名北小学校) イ 田名っ子フェスティバル(田名小学校) (3) 地域活性化事業交付金について (4) その他 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(◎は会長、○は委員、☆はアドバイザー、□は地域包括ケア推進課、■は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ (代田会長)

3 議題

(1) 田名地区における「移動支援」の取組について

NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワークの清水理事長と大塚理事から、移動支援を考える上での取り組み方、県内や市内の事例等の説明を受けた後、意見交換を行った。

(主な意見等)

○他地区ではどのような内容でアンケートを実施したのか。

☆「外出すること」に関するアンケートで、地域包括支援センターが作成して自治会が配布、回収した。

○田名の場合、移動支援に対してどのくらい必要性があるのか等の実情を把握していない。

☆地域によって課題が違ってくる。例えば、新磯地区ではグリーンスローモビリティの導入を4つの区域に分けて検討しており、区域毎に動き方や考え方が全然違う。

○どのくらい地域差があるのか、田名でもアンケートを実施しないと分からない。

○田名では人口3万人、高齢者が8千人くらいいる。アンケートのとっかかりをどうすれば良いか。対象を全体とするのか、地域を限定した方が良いのか。

☆麻溝地区でも新磯地区を参考に全体に対してアンケートを実施した。年齢別や地域別にクロス集計も可能なため、地域を限定するよりかは全体で実施した方が良い。サロン送迎や日常の買い物などの困り事にも地域差がある。

◎アンケートの結果をもって一つの方向性としているのか。

☆アンケートを実施するところが多い。ただ、その結果と現実の差は生じてしまう。

アンケートでは多数が困っているという結果だったにもかかわらず、実際に運行してみたら利用者が少なかったということはよくある。しかしながら、アンケートを実施することで、この地区ではこの問題に取り組んでいるという情報発信に

もなるし、住民の方への意識啓発にもつながる。

○アンケートの対象年齢の制限はしたか。

☆していない。

○新磯地区では「対象者を会議で決定し事前訪問」とあるが、対象者をどうやって把握したのか。

☆受入側の体制もあるため、地域包括支援センターに一人暮らしで買い物や通院が困難という状況を考慮してもらい、対象者をある程度限定してもらっている。1回利用するとリピーターとなることもあり、少しずつ受け入れ側の体制を整えている。住民だけでは対象者の把握が難しく、地域包括支援センターに支援してもらっている。利用を無料にしてしまうと利用者が気を使ってしまうため、年会費を負担してもらっている。これに併せて市補助金を活用しながら運営している。

○移動支援を行う上で考えなければならない重要なリスクは何か。

☆リスクについては普段の車の運転と変わらないと思っているが、他人を同乗させることによる心理的な不安はあると思う。そのため、研修を通じて運転操作や保険に関する知識習得などを組織として対応していくことが必要である。自分たちは自動車保険に加えて介助等の活動に対する賠償責任保険にも加入している。万が一の場合は個人ではなく、組織で対応していくことが大事だと思う。

○事故等があった場合、被害者側からの請求は色々なケースが想定される導入に際して保険に関する議論はあったか。

☆自動車保険の場合は通常加入している自分の保険を前提としている。傷害保険の場合は活動保険やボランティア保険で対応する。取組を始めるにあたっては不安に思うことが多いと思う。しかしながら、色々と考えてしまうと初めの一步が踏み出せなくなってしまう。

○リスクをいかに整理して、それに係る保険をどのように選択するかが重要である。

□ボランティアによる送迎は全国に広がっており、それに対応する保険も増えている。市でも年間50万円を上限として運行経費の補助を行う制度を設けているため、金銭的な部分は補助金を活用していただき、具体的な検討を行っていただければと思う。

○自分の車で加入している任意保険でも補助金を適用することはできるか。

□稼働日数で案分するなどすれば適用可能である。

◎本日は移動支援を検討する上でどのように進めていくのかを考える機会となった。今後検討を進めていく中で、どんな支援ができるのかを考えていきたい。委員には今後の取組方の参考にするためアンケート用紙を配布しているので、提出して帰ってもらいたい。

(2) 子どもを対象とした事業（イベント）について

11月18日（土）開催予定の近隣小学校PTAイベントについて、まちづくり会議でどのように出展するか話し合い、主な内容は次のとおりである。

（結果）

ア 田名北小学校ふれあい広場（田名北小学校）

移動動物園・・・藤橋委員にお願いし、その他2名は会議後個別に相談することになった。

e スポーツ体験、けん玉・・・運営スタッフは不要。

イ 田名っ子フェスティバル（田名小学校）

バルーンアート・・・田名地区青少年健全育成協議会が担当する。

自転車シュミレーター・・・運営スタッフは不要。

（主な意見等）

◎上記のとおりとするが、PTAイベントであることから、極力PTAの方と一緒に運営するよう心がけるとともに、地域イベントのため様子を見に来て欲しい。

(3) 地域活性化事業交付金について

申請者（田名地区ダイナボアーズサポーターズ 花房代表）及び事務局から、案件に係る内容の説明を行い、案件に対する意見を伺った。

〈申請案件〉

田名地区三菱重工相模原ダイナボアーズ応援事業

〈意見等〉

○田名北小学校では毎年総合学習の時間でダイナボアーズのことを取り上げているので、可能であれば本取組と連携して進めてもらいたい。

(4) その他

■今年度のまちづくりを考える懇談会の日程を令和6年1月16日（火）としているが、11月役員会で開催可否について議論する予定である。

■次回会議は、11月14日（火）19時からとする。

4 閉会（花房副会長）

以 上

令和5年度 第5回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和5年10月17日

	団体名	団体役職	氏名	備考	出欠
1	田名地区自治会連合会	会長	代田 修	会長	○
2		副会長	花房 博文	副会長	○
3		副会長	安部 和博	理事	
4	田名自治会連合婦人会	副会長	藤橋 和代		○
5	田名公民館	館長	大谷 政道	副会長	○
6	田名地区社会福祉協議会	会長	田所 恒男	理事	○
7	田名地区民生委員児童委員協議会	会長	田所 直久	理事	○
8		民生委員児童委員	神澤 優子		○
9	田名財産管理委員会	会長	田所 昌訓		○
10	田名地区公共交通整備促進協議会	顧問	志村 勝美		○
11	田名地区防犯協会	会長	大谷 靖臣		
12	田名地区青少年健全育成協議会	副会長	木下 英雄		○
13	田名小学校PTA	会長	平井 佑介		○
14	田名地区老人クラブ連合会	会長	小島 昭二		○
15	J A相模原市田名支店運営委員会	市農協理事	大谷 京子		○
16	田名地区ボランティアグループ	代表（市食生活改善推進団体）	浅見 泰子		○
17	田名地域包括支援センター	センター長	矢口 君代		○
18	有識者				

出席（○） 15

欠席（ ） 2

合計 17